

### Ⅲ. 基本的方針及び重点施策

#### Ⅲ. 基本的方針及び重点施策

##### (1) 振興の基本的方針

本県の離島地域は、比較的規模は小さいものの、それぞれ固有の特性・資源を有していることから、各島を均一に振興していくのではなく、各島が有する特性・資源を最大限に生かした施策を講じ、個性あふれる島づくりを目指していくため、基本目標と目指すべき姿及び重点施策を次のとおり定める。

##### ■基本目標

##### 「生き活きと、笑顔で暮らせる島づくり」

##### ■目指すべき姿と重点施策

○豊かな自然環境や歴史文化に恵まれ、安全で安心して暮らせる地域

安全・安心な暮らしの確保

- ▶ 交通体系の整備
- ▶ 医療・福祉の確保・充実

○地域の資源や魅力が生かされた活力ある地域

経済基盤の確立

- ▶ 産業の振興
- ▶ 雇用機会の確保・拡充

○すべての世代がいきいきと輝き、人々が集う地域

交流・定住の促進

- ▶ 交流人口の拡大
- ▶ UIJ ターン等の促進

##### ■施策推進の視点

- ▶ 人材の確保・育成
- ▶ 多様な主体との協働

##### (2) 重点施策の方向性

基本目標を達成するため、本県の離島地域の抱える課題の中でも、関係市及び住民からの意見を踏まえ、次の事項に重点的に取り組む。

##### ■交通体系の整備

交通体系の整備は、離島の地理的条件によって受ける制約を改善する最も重要な施策である。

特に、離島航路の維持・確保は、単に住民の生活交通としての移動手段の確保に留まらず、産業、観光、医療など様々な振興に寄与するものであり、離島振興の根幹となるもの

であることから、その維持・確保に取り組むとともに、物資の流通に要する費用及び運賃の低廉化・効率化についても検討する。

##### ■医療・福祉の確保・充実

離島地域の多くの住民は、本土の医療機関に依存しており、緊急時や災害時の医療体制には不安を抱えていることから、診療所の設置検討をはじめ、緊急時の医療体制の整備や、妊婦の健診等を含めた住民の診療に要する交通費等の負担の軽減などの取組について検討する。

また、離島地域では、高齢化率が 60%を上回っていることから、介護サービスの需要は高い。しかし、サービスの提供体制は十分ではなく、住民は本土の介護サービス事業所に依存しており、日常的なサービスの必要性から、やむを得ず本土へ転居するケースもある。

このことから、住民が自立し安全で快適な生活を送れるよう、介護予防や地域において高齢者を支える取組を推進する。

##### ■産業の振興と雇用機会の確保・拡充

離島地域における産業構造は、水産業や製造業、卸売小売業、運輸業及び飲食宿泊業に就業している住民が約 75%を占めていることから、漁場の整備や地域資源を活用した特産品のブランド化、6次産業化、高付加価値化、販路の拡大及び観光業など、主にこれらの産業の振興に重点的に取り組み、地域の活性化を促進する。

併せて、輸送コストの低廉化の取組についても検討を行い、産業の体質強化を図る。

また、離島地域における、雇用機会の拡充・就業促進に向けて、上記の産業振興施策を着実に進め、雇用の確保・拡大を図るとともに、若者や移住者の定住の促進にもつなげていく。また、観光や福祉などの地域課題の解決に取り組む人材の就業を支援し、新たな雇用機会の創出にも取り組む。

なお、離島地域は、瀬戸内海特有の多島美が織り成す風光明媚な景観や、豊かな水産資源、歴史と伝統のある固有の文化など、優れた観光資源を有していることから、これらを有効に活用した観光の開発に、重点的に取り組み、交流人口の増大などにより、地域の活

活性化を図るとともに、本地域は本土に近接しているため、本土側地域を組み合わせた周遊観光ルートの開発についても検討する。

■交流人口の拡大とUIJターン等の促進

離島地域と他地域との人々の交流は、住民に視野の拡大や気づきをもたらすとともに、他地域の人々に離島地域についての理解を深めてもらう機会となることにより、地域の活性化に資するものであることから、恵まれた自然環境や固有の文化、芸術などの地域資源を活用し、交流の促進に努め、交流人口の拡大を図るとともに、島やそこに住む人々の魅力を積極的にPRし、定住者の増加につなげていく。

■人材の確保・育成と多様な主体との協働

離島地域の活性化には、地域の自主的・主体的な取組が必要であることから、住民の意識改革や地域づくりに参画しやすい環境づくりなどに努めるとともに、地域を担う人材の確保育成に取り組む。

また、住民やNPO、民間団体など、多様な主体と協働し、活性化に向けた取組を進める。